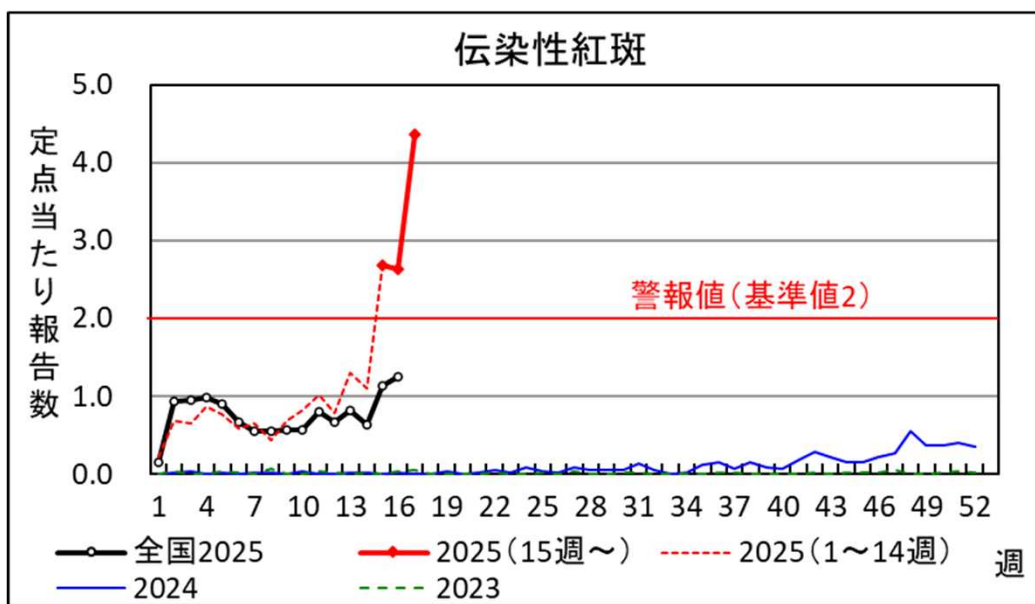


伝染性紅斑（リンゴ病） 警報発令中です！



◆ 最新の流行状況《2025年第17週（4月21日～4月27日）現在》

- 県全体の定点当たり報告数は4.36となり**3週連続で警報値**を超え、過去最高の値となっています。
- 地域別では、中毛地域（6.14）、西毛地域（4.63）、東毛地域（3.71）の順で多くみられています。



※2025年第15週から小児科定点が変更となりました。

◆ どんな病気？

- 顔、特に両頬に、はっきりとした発しんが出ます（リンゴのように赤くなる）。その後、手や足にも左右対称に網目状の発疹が現れる病気です。
- ヒトパルボウイルスB19を原因とする感染症で、好発年齢は乳幼児期から学童期ですが、成人も感染することがあります。潜伏期間は4～15日です。
- 多くの場合、頬に発しんが出現する7～10日くらい前に、微熱やかぜのような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなりますが、発しんが現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。
- 妊娠中（特に妊娠初期）に感染した場合、まれに胎児の異常や流産が生じることがあります。**妊娠中あるいは妊娠の可能性のある女性は、できるだけ患者との接触を避けるようご注意ください。**

◆ 感染経路は？

- 咳やくしゃみのしぶきに含まれるウイルスを吸い込んだり、ウイルスが付着した手で口や鼻を触ることによって感染します。

◆ 予防方法は？

- 原因となるウイルスは**アルコールが効きにくい**ため、咳エチケットを心がけ、手指は石けんと流水でよく洗うようにしましょう。



群馬県ホームページ「感染症情報」もご覧ください。

▼「伝染性紅斑」について <https://www.pref.gunma.jp/page/3320.html>